



DS-8100 ユーザーマニュアル

2026年06月22日

目次

1 システム設定	4
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り	4
1.2 工場出荷時設定にリセット	4
1.3 作業モード	4
2 電源管理	6
2.1 睡眠時間を読む	6
2.2 睡眠時間を設定する	6
2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する	8
3 情報プロンプト	8
3.1 ブザー制御	8
3.2 振動モーター制御	9
3.3 ブザー音の定義	10
3.4 インジケータライトの定義	10
4 有線モード	10
4.1 USB 送信方法	11
4.2 USB キーボードの送信速度	11
4.3 USB HID マルチキー送信設定	12
5 ワイヤレスモード	13
5.1 インターフェイス設定の読み取り	13
5.2 無線伝送方式	13
5.3 2.4G ペアリング	13
5.4 受信機の動作モード	14
5.5 2.4G 送信キャッシュ	16
6 藍牙モード	17
6.1 インターフェイス設定の読み取り	17
6.2 藍牙送信方法	17
6.3 藍牙動作モード	17
6.4 藍牙名の変更	18
6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする	18
6.6 システムキーボードの機能	19
6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。	20
6.8 藍牙キーボードの送信速度	20
6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない	21
7 キーボード設定	22
7.1 HID Keyboard General Setting	22
7.2 キーボードの言語設定	29
8 キーボード言語	29
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る	29
9 データ編集	35
9.1 標準データ編集設定	35
9.2 拡張データ編集設定	42
9.3 端末文字設定	44

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定	45
10 読書モード	46
10.1 バーコードデコード読み取りモード	46
11 HF 設定	48
11.1 読書モード	48
11.2 UID 出力形式の設定	51
11.3 ID プレフィックス設定	55
11.4 ユーザー領域の読み出し設定	56
12 MOD の設定	63
12.1 デバイスの機能設定	63
12.2 トリガー設定	64
12.3 エンジン Code ID	69
12.4 エンジン出力フォーマット	73
12.5 バーコード設定	75
12.6 エンジンセッティングコード	120
12.7 エンジンキャラクターテーブル	122
13 付録	127
13.1 文字検索テーブル	127

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り



ファームウェアバージョンの読み取り

1.2 工場出荷時設定にリセット

注釈

「カスタムデフォルトの書き込み」が実行されている場合、「デフォルトの復元」はそれらのカスタムデフォルトを復元します。それ以外の場合は、工場出荷時のデフォルト値が復元されます。

重要

「工場出荷時のデフォルトに設定」は、すべてのカスタムデフォルトをクリアし、工場出荷時のデフォルトに戻します。



カスタムデフォルトを復元する



カスタムのデフォルト値を書き込む



工場出荷時のデフォルトを設定する

1.3 作業モード

i 注釈

データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

i 注釈

無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。



* 通常モード



ストレージモード



ストレージデータのアップロード



保存されているバーコードの総数を読み取ります



アップロード後にストレージデータをクリアする



ストレージスペースの使用状況を読み取る



保存されたバーコードをクリアする



* 自動ストレージモードが無効になっています



自動ストレージモードが有効になっています

2 電源管理

2.1 睡眠時間を読む



睡眠時間を読む

2.2 睡眠時間を設定する



今すぐ冬眠します



1 分後に寝る



3 分後にスリープ (デフォルト)



5 分後に寝る



10 分後に寝る



30 分後に寝る



1 時間後に寝る



2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する



バッテリー残量を取得する

3 情報プロンプト

3.1 ブザー制御



ミュート



*大音量



中程度の音量



小さい音量



* 高音



低音



* SDK 音声応答が無効になっています



SDK 音声応答の有効化



ベース接続ブザープロンプトスイッチ

3.2 振動モーター制御

注釈

振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。



無効にする



有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	音声ファイル
ビープ	ワントーン（ツートーン）	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	storage-mode.m4a、shutdown.m4a
ビープ	1 音（3 音）	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	startup.m4a、wireless-setting.m4a
ビープ	短い音（同じ音）	バーコード読み取り成功プロンプト。	one-beeps.m4a
ビープ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン（同トーン）	読み取り中の電力不足アラーム。	two-beeps.m4a
アラーム音	3 音（同音）	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音（同音）	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	five-beeps.m4a

3.4 インジケータライトの定義

インジケータライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。藍牙モードをサポートするモデルは、藍牙接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

i 注釈

有線伝送をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

4.1 USB 送信方法



* USB キーボードモード



USB 仮想串口モード

i 注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、コード読み取りデバイスは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です



有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

i 注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの藍牙送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。



* 最高速度



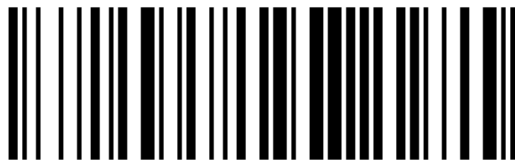
トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度



キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

注釈

このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。



USB HID マルチキー送信有効



* USB HID マルチキー送信は無効です

5 ワイヤレスモード

注釈

2.4G 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

5.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

5.2 無線伝送方式

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



2.4G 送信モード

5.3 2.4G ペアリング

重要

ワイヤレス 2.4G モードでのみ有効です。



2.4G ペアリングを開始します



1 対 1 のペアリング



1 対 1 のペアリング

5.4 受信機の動作モード

注釈

コンポジットデバイスモードは、FWVerL 以降の受信機でのみ使用できます。
ReceiverAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成し、それをスキャンしてペアリングを完了することもできます。



複合デバイスとしての受信機



仮想シリアルポートとしてのレシーバー

i 注釈

このモードでは、仮想シリアルポートドライバーをインストールする必要があります。



キーボードとしての受信機

受信機キーボードの通信速度

i 注釈

このセクションの手順は、FWVerL 以降の受信機にのみ適用されます。コード読み取りデバイスと受信機の送信速度が一致している必要があります。一致しないと、長いバーコードを送信するときにエラーが発生する可能性があります。

ii 重要

このコマンドはワイヤレス 2.4G モードでのみ有効で、受信機は正常に接続されています。



キーボードの読み取り速度

i 例

KB SP=2,4 は、USB のキーボード速度が 2ms、受信機のキーボード速度が 4ms であることを意味します。



レシーバーキーボード高速



レシーバーキーボード中速



レシーバーキーボード低速

i 注釈

無線 2.4G モードでのみ有効で、受信側は正常に受信します。

5.5 2.4G 送信キャッシュ

i 注釈

このコマンドは、この機能をサポートする一部のコード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

通常のバーコードをスキャンする場合、バーコードのデータ量が多くスキャン間隔が短く、データのアップロードが間に合わない場合に、この設定コードを使用してデータのキャッシュを有効または無効にすることができます。



SRAM キャッシュスイッチ

通常モードでは、データキャッシュを有効にした後、デバイスが一時的に通信距離を離れてオフライン状態になった場合、この設定を使用して、キャッシュされたデータをアップロードする前に接続を待つか、キャッシュされたデータをクリアするかを選択できます。



オフラインキャッシュスイッチ

6 藍牙モード

i 注釈

藍牙機能を備えた RF+BT コード読み取り装置にのみ適用されます。

6.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

6.2 藍牙送信方法

i 注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



藍牙送信

6.3 藍牙動作モード

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。

i 注釈

藍牙動作モードを切り替える前に、ホストとコード読み取りデバイスの両端のペアリング情報をクリアする必要があります。



蓝牙 HID キーボード (デフォルト)



蓝牙 SPP シリアルポート



蓝牙 BLE シリアルポート



蓝牙基本送信モード

注釈

すでにペアリングされている蓝牙ベースとのペアリングに適しています。ベースのバーコードが破損している場合は、小さなツール BluetoothAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成することもできます。

6.4 蓝牙名の変更

新しい蓝牙名を入力したら、生成された QR コードをスキャンして設定を完了します。ホストが変更後に古いペアリング記録を保存している場合は、まず古いペアリングを削除して、接続を再度検索してください。

6.5 蓝牙 HID ペアリングをクリアする

蓝牙送信モードで「ペアリングのクリア」をスキャンした後、コード読み取りデバイスは現在ペアリングされているデバイスを切断し、ペアリングリストをクリアしてから、新しいデバイスのペアリングを待ちます。過去にペアリングしたデバイスを削除し、再度ペアリングする必要があります。



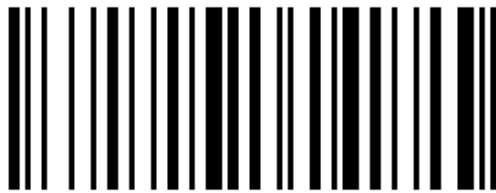
蓝牙ペアリングをクリアする

6.6 システムキーボードの機能

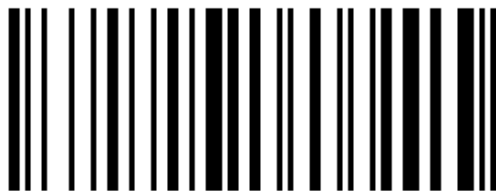
iOS システムのポップアップキーボード機能



iOS キーボードのポップアップ/非表示



トリガーボタンを4秒間長押しすると、iOS キーボードスイッチがポップアップします。



トリガーボタンをダブルクリックして、iOS キーボードスイッチをポップアップ表示します。



送信後に iOS キーボードスイッチをポップアップ表示する

Windows Caps Lock の検出

注釈

このコマンドは、一部の藍牙コード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2回の短いビープ音が無効を示し、1回の3音ビープ音が有効を示します。



Windows Caps Lock 検出スイッチ

6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。

注釈

このコマンドは一部の RF+BT コード読み取りデバイス (DS、C、RT) にのみ適用されます。有効にした後、トリガーボタンを 8 秒以上押し続け、放すと RF/BT が切り替わります。16 秒以上押し続けると、コード読み取り装置がシャットダウンし、モードは切り替わりません。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



トリガーボタンを 8 秒間押し続けると、RF/BT スイッチが切り替わります。

6.8 藍牙キーボードの送信速度

注釈

藍牙モードでのみ有効です。



藍牙 HID 遅延の読み取り



高速 (2ms)



高速 (6ms)



* 中速 (10 ミリ秒)



中速 (18ms)



低速 (25ms)



低速 (30ms)

6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない

注釈

設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



藍牙接続ステータス非スリープスイッチ

7 キーボード設定

7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

注釈

このセクションの一般的な HID モード設定は、USB キーボード、RF2.4G キーボード、BT HID キーボードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定



* 結合キーオフ



Ctrl+ Key Config1



Alt+ Key Config2



Normal-Key Config3



Ctrl+ Key Config4



Alt+ Key Config5

i 注釈

only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定



普通



スワップケース



すべて大文字



すべて小文字

※ キーボード言語を ALT、TH に設定した場合、大文字と小文字の設定は適用されません。

Num Lock の設定



Num Lock が無効になりました



Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

i 注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D コード読み取りデバイスにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。



現在の文字セット設定を読み取る



自動



GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS



ISO/IEC 8859



UTF8 (ワード)



UTF8 (送信)



ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	コード読み取りモジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

受信デバイスの選択

注釈

このセクションは、さまざまな受信デバイスが ASCII 文字 (0x20 から 0x7F) を入力する方法を設定するために使用され、[鍵盤言語設定](#) と組み合わせて使用 する必要があります。



現在の受信デバイス設定を読み取る



Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

➡ 参考

キーボード言語設定は別のページ (鍵盤语言设置) に分割されました。

8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る



現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー



* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー



フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー



ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITItaly イタリアキー



イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー



ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー



スペイン語キーボード

L7 TR トウルキエトルコキー



トルコ語 Q キーボード



トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー



イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー



チェコ語キーボード



チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー



ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー



ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー



ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー



カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー



クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー



スロバキア語 QWERTY キーボード



スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー



デンマーク語キーボード

L17 FIFINLAND キー



フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー



ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー



オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー



ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー



ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー



セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー



スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー



スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー



スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本語日本語キー



日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

注釈

タイ語キーボードを使用する場合、コード読み取りモジュールも TH 出力に設定する必要があります。



タイ語キーボード

🔄 参考

参照ファイル: RF2.4G、藍牙設置 _ 中文、泰語、韓国.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

i 注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。



ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー



ALT 半角特殊文字キーボード

i 注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

➡ 参考

文字値については、[ASCII ファンクションキー文字比較表](#) および [ASCII 文字比較表](#) を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、[デジタル設定コード](#) をスキャンしてください。具体的な手順については、「[プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ](#)」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ~ FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

➡ 参考

文字を非表示にするプロセスについては、[バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順](#) を参照してください。

オペコード



プレフィックスを追加する



接尾語を追加



すべてのプレフィックスをクリアする



すべてのサフィックスをクリア



最初のバーコードの文字数を非表示にする



バーコード中央の開始桁を非表示にします



バーコードの途中の文字数を非表示にする



バーコードの末尾の文字数を非表示にする

デジタル設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応するデジタル設定コードをスキャンしてください。



デジタル設定コード 0



デジタル設定コード 1



デジタル設定コード 2



デジタル設定コード 3



デジタル設定コード 4



デジタル設定コード 5



デジタル設定コード 6



数値セットアップコード 7



デジタル設定コード 8



数値セットアップコード 9



デジタル設定コード A



デジタル設定コード B



デジタル設定コード C



デジタル設定コード D



デジタル設定コード E



デジタル設定コード F

出力形式の設定

出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。



デフォルトの出力形式



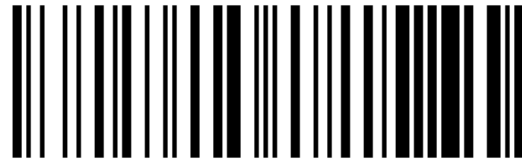
出力サフィックスを許可する



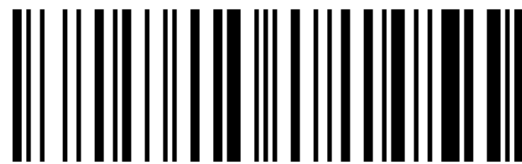
出力プレフィックスを許可する



バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます



バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます



バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は既存のサフィックスに追加されます。元のサフィックスを破棄したい場合は、「すべてのプレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンしてリセットしてください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. [ASCII ファンクションキー文字比較表](#) または [ASCII 文字比較表](#) に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

例

プレフィックスとして **Ctrl+A** を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

例

Ctrl+Alt+A をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、0、4 をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、0、C をスキャンします)。
3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

注釈

オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

バーコード先頭文字を非表示

バーコード中央文字を非表示

バーコード末尾文字を非表示

文字置換

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

```
$DATA#ncllxx#
```

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのコードシステムを示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

xx

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

注文	意味
\$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
\$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
\$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
\$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
\$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
\$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
\$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: \$DATA#70 + 被替换字符长度 + 被替换字符 + 替换后数据长度 + 替换后数据 #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1~6 文字が 5~0 文字に置換されることがサポートされます。



置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

i 例

\$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。



文字置換操作: GS からテキスト GS へ

i 例

\$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。



文字置換操作: LF から CR

i 例

\$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

i 注釈

この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。



なし (デフォルト)



CR を入力してください



タブ文字 TAB



キャリッジリターンとラインフィード CRLF

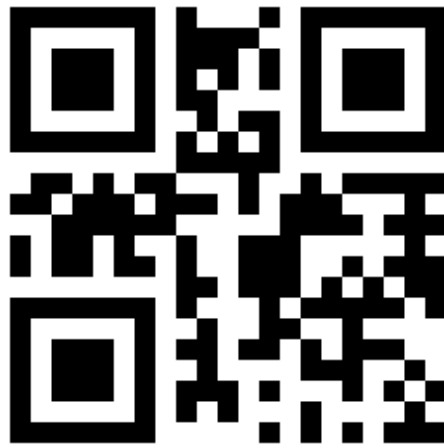


改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。



生の形式 (デフォルト)



括弧を追加する



括弧を追加し、CR で区切ります。



括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読書モード

10.1 バーコードデコード読み取りモード



キースキャンモード（デフォルト）



連続スキャンモード

i 注釈

連続スキャンモードは、連続高速スキャンシナリオに適しています。トリガーボタンを押して、開始または停止をトリガーします。



キーパルススキャンモード

i 注釈

キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタマイズモデルにのみ適用）

i 注釈

ホストトリガーモードは一部のカスタマイズモデルにのみ適用されます。



バッチスキャンモード（一部のカスタマイズされたモデルにのみ適用可能）

デコードタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中にデコード処理が継続する最大時間を設定します。デフォルト: 3000ms、範囲: 0500 ~ 9999ms。



3 秒 (デフォルト)



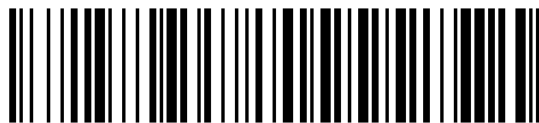
6 秒

インターバル時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。デフォルト: 500ms、範囲: 0100 ~9999ms。



0.5 秒 (デフォルト)



1 秒

11 HF 設定

注釈

13.56 MHz HF RFID 機能を備えたワイヤレスモデルでのみ利用可能です。

11.1 読書モード

2D と RFID の切り替え



* 2D のみ



RFID のみ



2D&RFID

i 注釈

仅 RFID モードで、トリガーボタンを 8 秒間長押しして、2D&RFID モードに切り替えます。

トリガー読み取りモード



* キースキャンモード (デフォルト)

トリガーボタンを押すと読み取りが開始され、トリガーボタンを放すと読み取りが停止します。



連続スキャンモード

トリガーボタンを押して連続読み取りを開始または停止します。



キーパルススキャンモード

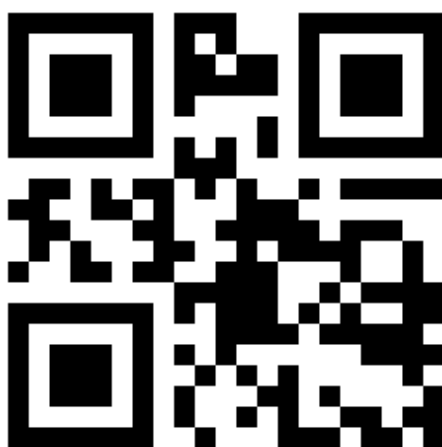
トリガーボタンをクリックすると読み取りが開始され、読み取りが成功するかタイムアウトになると自動的に終了します。

11.2 UID 出力形式の設定

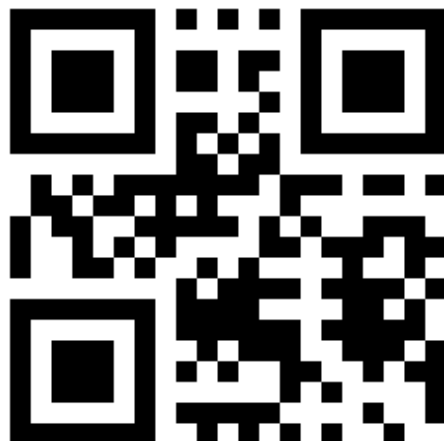
出力形式



生の 16 進数 (hex)



* ASCII (上位ビットが先)



ASCII (下位ビットが先)



10 進数 (上位から順)

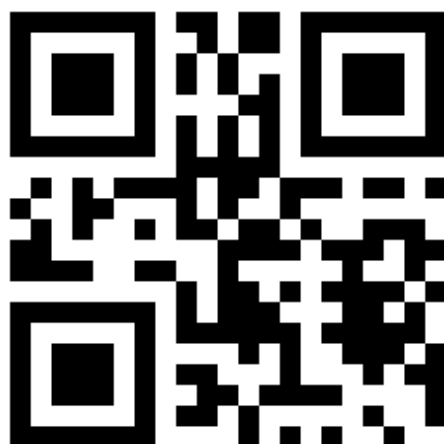


10 進数 (下位から順)

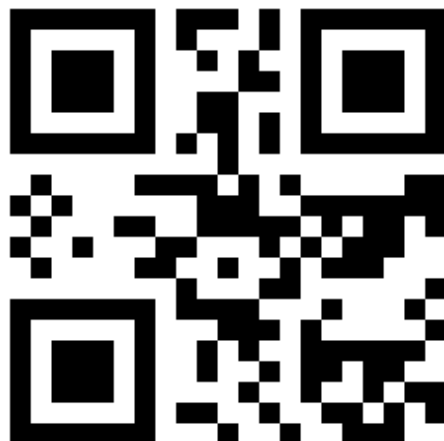
たとえば、UID 出力が E0 00 12 34 の場合:

```
ASCII: E0001234
ASCII LSB: 341200E0
Original(hex): 0xE0,0x00,0x12,0x34
Decimal MSB: HEX2DEC(0xE0001234) = 3758101044
Decimal LSB: HEX2DEC(0x341200E0) = 0873595104
```

ヘッドを削除 0



* 無効にする



有効にする

たとえば、生の出力は 0001234 です。[ヘッダー 0 の削除] を有効にすると、出力は 1234 になります。

ターミネーターの設定



* CR



None

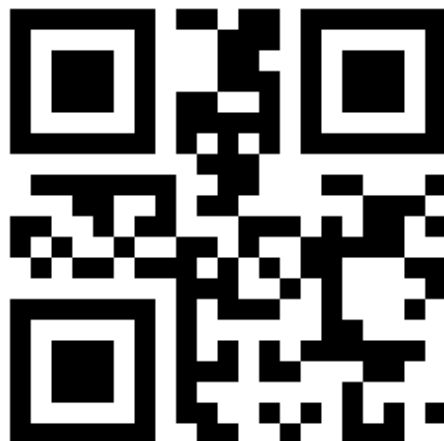
i 注釈

1文字の設定のみをサポートします。他のシンボルは、%RFIDFMT#HE0\\xXX を通じてカスタマイズできます (\\xXX は16進数です。たとえば、Tab ターミネータは %RFIDFMT#HE0\\x09 にすることができます)。Original(hex) 出力形式にはこの文字は含まれません。

11.3 ID プレフィックス設定



* 無効にする



有効にする

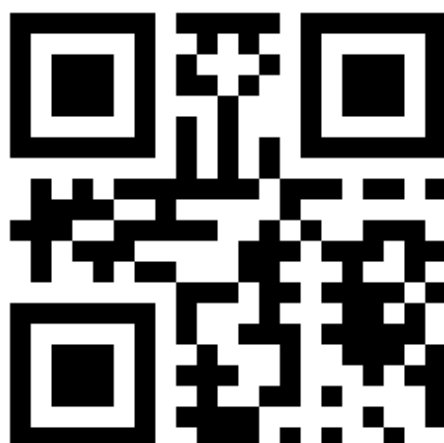
有効にすると、RFID ID には UID: プレフィックスが追加され、バーコードデータには COD: プレフィックスが追加されます。

11.4 ユーザー領域の読み出し設定

i 注釈

一部のモジュールにのみ適用され、必要なバージョンは bn0GDS_HF9_RFSBTD43bc_FB06 以上です。

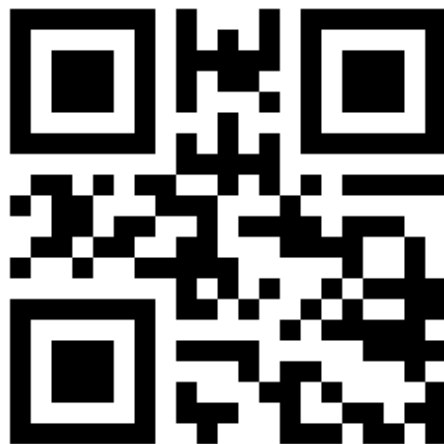
構成の読み取り



* UID のみ



ユーザーのみ



UID+ ユーザー (テストのみ)

ユーザーの NDEF 解析

注釈

有効にすると、NDEF メッセージ内のペイロードデータが解析および抽出されます。これは、一部のモジュールの TEXT および URI タイプの NDEF にのみ適用されます。



* 無効 (読み取ったメモリデータを出力)



有効化 (NDEF ペイロードの出力)

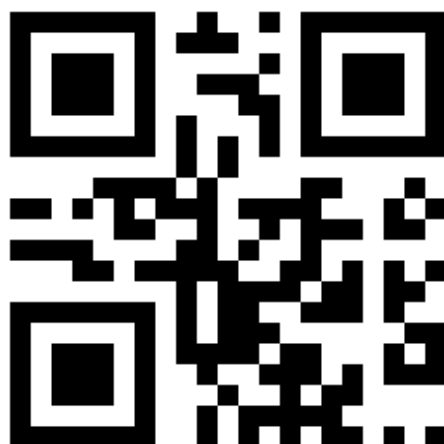


NDEF MSG (出力 NDEF メッセージ)

ユーザーブロック読み出し設定



RFID ユーザーブロックの開始ブロックの設定



RFID ユーザーブロックの読み取りブロック数を設定します

開始ブロックまたは読み取るブロック数を設定する場合:

1. まず、対応するセットアップコードをスキャンします。
2. 入力する 2 桁の 16 進値を決定します (04、0C など)。
3. デジタル設定コードを最初に上位桁、次に下位桁をスキャンします。

デジタル設定コード

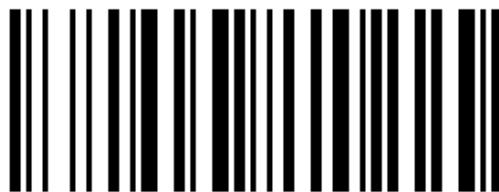
指定値が必要なパラメータについては、対応する 16 進数の設定コードをスキャンしてください。



デジタル設定コード 0



デジタル設定コード 1



デジタル設定コード 2



デジタル設定コード 3



デジタル設定コード 4



デジタル設定コード 5



デジタル設定コード 6



数値セットアップコード 7



デジタル設定コード 8



数値セットアップコード 9



デジタル設定コード A



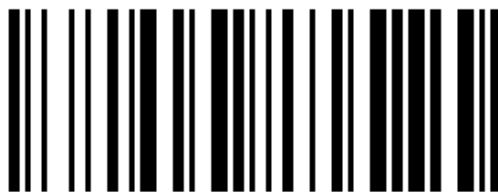
デジタル設定コード B



デジタル設定コード C



デジタル設定コード D



デジタル設定コード E



デジタル設定コード F

12 MOD の設定

12.1 デバイスの機能設定

URL ブロック



* 無効にする



有効にする

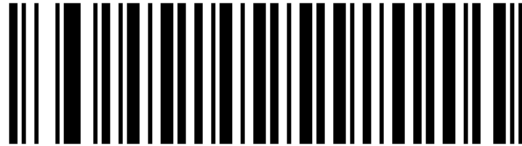
請求書機能

請求書機能を有効にすると、Code 128 コードシステムは自動的に無効になります。Code 128 を読み取る必要がある場合は、Code 128 コードシステムを再度有効にすることができます。

VAT 請求書の自動識別と出力



* 無効にする



有効にする

請求書の種類



* 特別請求書



通常の請求書

12.2 トリガー設定

トリガーモード

キーホールド（レベル）

ボタンを押すと読み取りが開始され、ボタンを放すと読み取りが終了します。読み取りが成功するか、単一の読み取りタイムアウトになると、読み取りは終了します。



* キーホールド（レベル）

シングルキートリガー（パルス）

キーレベルの変化が検出されてから読み取りが開始され、約 30 ms (具体的な時間は製品によって異なります) 維持されます。再びキーレベルの変化が検出されると読み取りが終了します。この読み取りは、読み取りが成功するか、単一読み取りタイムアウトになると終了します。



シングルキートリガー（パルス）

連続モード

読み取りエンジンは継続的に動作します。読み取りが成功するたび、または1回の読み取り時間が経過するたびに読み取りは終了し、連続読み取り間隔に達すると次の読み取りが自動的にトリガーされます。



連続モード

オートセンシングモード

読み取りエンジンは周囲の環境の明るさを検出し、明るさが変化すると読み取りをトリガーします。読み取りが成功するか、単一の読み取りタイムアウトになると、現在の読み取りが終了し、環境の明るさの検出が再び開始されます。



オートセンシングモード

1回のスキャン時間 (スキャン期間)

単一の読み取りのカスタム最大継続時間を設定します。設定コードをスキャンした後、3桁の設定コードをスキャンして時間係数を入力します。3桁未満の場合は、前に0を追加します。

デフォルト

3000 ms

ユニット

100 ms

範囲

500-25500 ms



1回のスキャン時間

例

500 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 0、0、5 を順番にスキャンします。

10500 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 1、0、5 を順番にスキャンします。

選択を変更するか、間違った設定をキャンセルするには、[バーコードをキャンセル](#)をスキャンします。

1回のスキャン時間（スキャン時間）のクイック設定

よく使用される期間を直接選択する必要がある場合は、次のクイックセットアップコードをスキャンできます。



無制限



3 秒間持続



5 秒間持続



10 秒間持続



15 秒間持続



20 秒持続



30 秒持続



60 秒持続

連続読み取り間隔

連続モードでは、このパラメータは2つの読み取りの間の待機に使用されます。最後の読み取りが成功したか失敗したかに関係なく、時間が経過すると自動的に次の読み取りに入ります。

設定コードを読み取った後、2桁の設定コードを読み取って時間係数を入力します。2桁未満の場合は、前に0を追加します。

デフォルト

500 ms

ユニット

100 ms

範囲

0-9900 ms



連続読み取り間隔

i 例

500 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 0 と 5 を順番にスキャンします。

選択を変更するか、間違った設定をキャンセルするには、**バーコードをキャンセル** をスキャンします。

同じコードの遅延

連続モードおよび自動検知モードで同じバーコードが複数回読み取られるのを防ぐために、読み取りエンジンに同じバーコードの再読み取りを一定期間遅らせるように要求できます。

設定コードを読み取った後、2桁の設定コードを読み取って時間係数を入力します。2桁未満の場合は、前に0を追加します。

デフォルト
500 ms

ユニット
100 ms

範囲
0-9900 ms



同じコードの遅延

i 例

200 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 0 と 2 を順番にスキャンします。

1500 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 1 と 5 を順番にスキャンします。

選択を変更するか、間違った設定をキャンセルするには、**バーコードをキャンセル** をスキャンします。

同一コード遅延クイック設定

よく使用される遅延を直接選択する必要がある場合は、次のクイックセットアップコードをスキャンできます。0、1、3、5、7、および無限遅延、合計 6 つのギアをサポートします。



遅延なし



1 秒の遅延



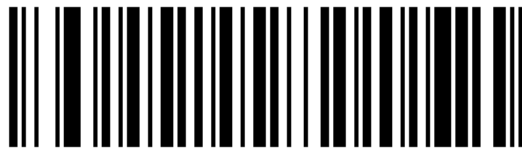
3 秒の遅延



5 秒遅延



7 秒の遅延



無限遅延 (同一コード読み取りを無効にする)

12.3 エンジン Code ID

トランスポートコード ID 文字

パラメータ番号

0x2D

デフォルト

None (无)

コード ID 文字は、バーコードの種類を識別するために使用されます。デバイスが複数のバーコードタイプをデコードできる場合、プレフィックス文字とデコードされたデータの間に Code ID または AIM ID を挿入できます。Code ID 文字については、[Code ID](#) を参照。AIM ID 文字については、[AIM コード識別子](#) を参照してください。



Code ID



AIM ID



* なし

Code ID

バーコードの種類	Code ID
Code 128	D
GS1-128(UCC/EAN-128)	K
AIM 128	D
ISBT-128	D
EAN-8	A
EAN-13	A
ISSN	L
ISBN/Bookland EAN	L
UPC-E	A
UPC-A	A
Interleaved 2 of 5/ITF	F
ITF-14	F
Deutsche Post 14	w
Deutsche Post 12	l
NEC-25(COOP 2 of 5)	o
Matrix 2 of 5	V
Industrial 2 of 5/Discrete 2 of 5/IND25	G
Standard 2 of 5 (IATA 25)	G
Code 39	B
Code 93	E
Codabar	C
Code 11	H
Plessey	J
MSI-Plessey	J
GS1-データバー (RSS)	R
PDF417	r
QR	q
AZTEC(Aztec Code)	a
Data Matrix (DM)	u
MaxiCode	x
漢信コード/漢信コード	c
Code 32	B
Trioptic Code 39	M
Coupon Code	N
GS1 DataBar-14	R
GS1 DataBar Limited	R
GS1 DataBar Expanded	R
SETUP128	S
Veri Code	v

AIM コード識別子

バーコードの種類	AIM ID	説明する
Code 128	]C0	通常データ
GS1-128(UCC/EAN-128)	]C1	FNC1 は最初のコードワード位置にあります。
AIM 128	]C2	FNC1 は 2 番目のコードワード位置にあります。
ISBT-128	]C0	
EAN-8	]E4	通常データ
	]E4...]E1...	EAN-8 データと 2 桁の追加コード。
	]E4...]E2...	EAN-8 データと 5 桁の追加コード。
EAN-13	]E0	通常データ
	]E3	EAN-13 データと 2/5 桁の追加コード。
ISSN	]X0	通常データ
ISBN/Bookland EAN	]X0	通常データ
UPC-E	]E0	通常データ
	]E3	UPC-E データと 2/5 桁の追加コード。
UPC-A	]E0	普通のデータ。
	]E3	UPC-A データと 2/5 桁の追加コード。
Interleaved 2 of 5/ITF	]I0	通常データ
	]I1	チェックキャラクタを検証して出力します。
	]I3	チェックキャラクタを検証しますが、出力しません。
ITF-14	]I1	チェック文字を出力します。
	]I3	チェックキャラクタは出力されません。
Deutsche Post 14	]X0	通常データ
Deutsche Post 12	]X0	通常データ
NEC-25(COOP 2 of 5)	]X0	通常データ
Matrix 2 of 5	]X0	通常データ
Industrial 2 of 5/ Discrete 2 of 5/IND25	]S0	通常データ
Standard 2 of 5 (IATA 25)	]R0	通常データ
Code 39	]A0	チェックサムなし、Full ASCII 拡張子なし、データをそのまま出力します。
	]A1	MOD43 検証、および出力検証文字。

次のページに続く

表 3 - 前のページからの続き

バーコードの種類	AIM ID	説明する
	]A3	MOD43 検証を実行しますが、検証文字は出力されません。
	]A4	Full ASCII 拡張機能が作成されましたが、チェックサムがありません。
	]A5	Full ASCII 拡張が行われ、チェックキャラクタが出力されます。
	]A7	Full ASCII 拡張は行われますが、チェックキャラクタは出力されません。
Code 93	]G0	通常データ
Codabar	]F0	通常データ
	]F2	検証、および検証文字の出力。
	]F4	検証しますが、検証文字は出力されません。
Code 11	]H3	通常データ
	]H0	MOD11 単一文字検証および出力検証文字。
	]H3	MOD11 単一文字検証ですが、検証文字は出力されません。
Plessey	]P0	通常データ
MSI-Plessey	]M0	通常データ
	]M0	MOD10 検証、および出力検証文字
	]M1	MOD10 検証ですが、検証文字は出力されません
GS1-データバー (RSS)	]e0	標準データパッケージ
PDF417	]L0	現時点ではオプションが指定されていないため、常に 3 を送信します
QR	]Q0	QR Code モード 1 (AIM ISS 97-001 に準拠)
	]Q1	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルは使用されません
	]Q2	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルを使用
	]Q3	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルは使用されず、位置 1 に FNC1
	]Q4	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルを使用、位置 1 に FNC1

次のページに続く

表 3 - 前のページからの続き

バーコードの種類	AIM ID	説明する
	]Q5	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルは使用されず、位置 2 に FNC1
	]Q6	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルを使用、位置 2 に FNC1
AZTEC(Aztec Code)	]z0	現時点ではオプションが指定されていないため、常に 3 を送信します
Data Matrix (DM)	]d0	ECC 000 - 140
	]d1	ECC 200
	]d2	ECC 200、位置 1 または 5 の FNC1
	]d3	ECC 200、位置 2 または 6 の FNC1
	]d4	ECC 200 は ECI プロトコルをサポートします
	]d5	ECC 200、位置 1 または 5 の FNC1、ECI プロトコルをサポート
	]d6	ECC 200、位置 2 または 6 の FNC1、ECI プロトコルをサポート
MaxiCode	]U1	現時点ではオプションが指定されていないため、常に 3 を送信します
漢信コード/漢信コード	]X0	現時点ではオプションが指定されていないため、常に 3 を送信します

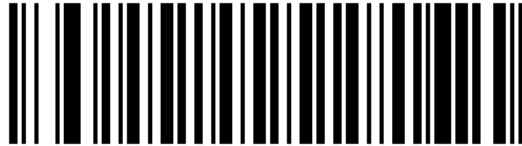
12.4 エンジン出力フォーマット

ターミネーターの設定

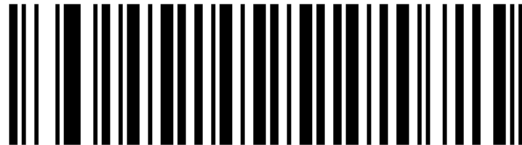
ターミネータは、出力データの後に付加される制御文字です。出力形式は、出力データ + ターミネータです。



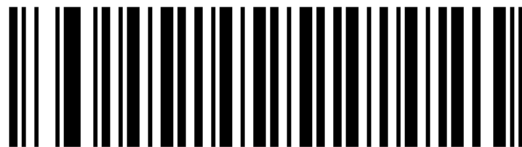
* 無効にする



復帰と改行 CR LF



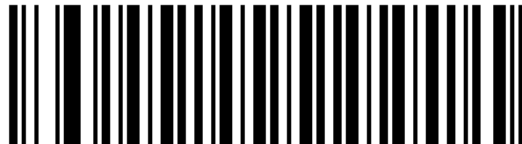
CR を入力してください



タブ



Enter Enter CR CR



キャリッジリターンとラインフィードキャリッジリターンとラインフィード CR LF CR LF

GS1 ルールをサポートし、括弧を使用して AI フィールドを含めます

現在、GS1 ルールがサポートされており、サポートされる AI セグメントは次のとおりです：
 (00) 輸送コンテナのシリアル番号、(01) 商品取引品目、(02) 商品取引品目、(10) バッチ番号、
 (11) 製造日、(13) 包装日、(15) 賞味期限、(17) 有効期限、(21) シリアル番号、(30) 数量、(240)
 内部コード、(712) 国民医療保険償還番号 - スペイン CN、(8012) ソフトウェアバージョン、
 (90) 取引先間の一貫した情報



* 無効にする



有効にする

12.5 バーコード設定

共通コード入力

コーディングシステム	入り口
UPC-A	UPC-A
UPC-E	UPC-E
EAN-8	EAN-8
EAN-13	EAN-13
Bookland EAN	Bookland EAN (ISBN) を有効/無効にする
Code 128	Code 128
GS1-128	GS1-128 (以前の UCC/EAN-128)
Code 39	Code 39
Code 93	Code 93
Code 11	Code 11
Interleaved 2 of 5	インターリーブド 2/5/ITF/クロス 25 ヤード
Codabar	Codabar
MSI	MSI/MSI PLESSEY
PDF417	PDF417
QR Code	QR Code
Data Matrix	Data Matrix (DM)
Maxi Code	Maxi Code
Aztec Code	Aztec Code
Han Xin Code	Han Xin Code

1D 反転バーコード読み取り



* 無効にする



有効にする

バーコードグローバルスイッチ

一次元コードスイッチ



無効にする



有効にする

QRコードスイッチ



無効にする



有効にする

すべてのバーコードスイッチ



すべてのバーコードを無効にする



すべてのバーコードを有効にする

リニアコードタイプの安全レベル

読み取りエンジンは、デコードされたセキュリティリニアエンコーディングタイプの4つのレベルを提供します。バーコードの品質レベルが低下する場合は、より高いセキュリティレベルを選択します。フォローする

セキュリティレベルが上がると、読み取りエンジンの攻撃性が低くなります。バーコードの品質に合ったセキュリティレベルを選択してください。

線形安全性レベル 1

すべてのコードタイプは、デコードされる前に1回正常に読み取られる必要があります



* リニアセキュリティレベル 1

リニアセーフティレベル 2

すべてのコードタイプは、デコードされる前に2回正常に読み取られる必要があります。



リニアセーフティレベル 2

リニアセーフティレベル 3

すべてのコードタイプは、デコードされる前に3回正常に読み取られる必要があります。



リニアセーフティレベル 3

リニアセーフティレベル 4

すべてのコードタイプは、デコードされる前に4回正常に読み取られる必要があります



リニアセーフティレベル 4

UPC-A

UPC-A の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、UPC-A を有効または無効にします。



* UPC-A を有効にする



UPC-A を無効にする

UPC-A プリアンブル

プリアンブル文字 (国コードおよびシステム文字) は、一部の UPC-A バーコードで送信できます。UPC-A プリアンブルを設定してホストに送信するには、システム文字のみを送信する、システム文字と国コード (米国の場合は「0」) を送信する、またはプリアンブルを送信しないオプションのいずれかを選択できます。



プリアンブルなし (<DATA>)



* システム文字 (<SYSTEM CHARACTER> <DATA>)



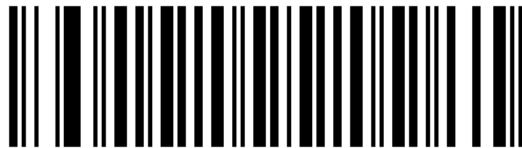
システム文字と国コード (<COUNTRY CODE> <SYSTEM CHARACTER> <DATA>)

UPC-A チェックディジットを送信する

以下の対応するバーコードをスキャンして、UPC-A チェックコードを送信するかどうかを設定します。

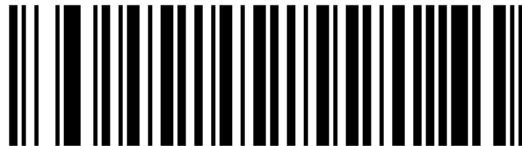


*UPC-A チェックデジットを送信

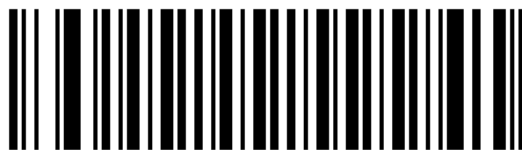


UPC-A チェックデジットを送信しない

UPC-A 2 桁の追加コード



有効にする

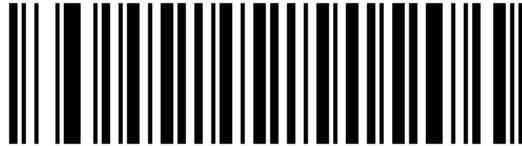


* 無効にする

UPC-A 5 桁の追加コード



有効にする

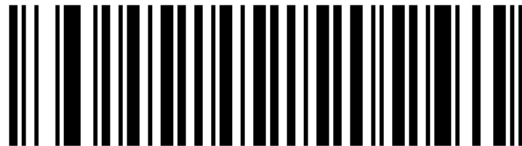


* 無効にする

UPC-A は追加コードを読み取る必要があります



UPC-A を有効にし、追加のコードを読み取る必要があります



UPC-A を無効にする追加のコードを読み取る必要があります

UPC-E

UPC-E の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、UPC-E を有効または無効にします。



* UPC-E を有効にする

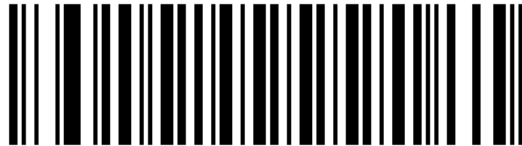


UPC-E を無効にする

UPC-E プリアンブル



プリアンブルなし (<DATA>)



* システム文字 (<SYSTEM CHARACTER> <DATA>)



システム文字と国コード (<COUNTRY CODE> <SYSTEM CHARACTER> <DATA>)

UPC-E チェックディジットを送信する

以下の対応するバーコードをスキャンして、UPC-E チェックディジットを送信するかどうかを設定します。



*UPC-E チェックディジットを送信



UPC-E チェックディジットを送信しない

UPC-E を UPC-A に変換します

このパラメータを使用すると、送信前にこのパラメータを UPC-E (ゼロ抑制) デコードされたデータから UPC-A 形式に変換できます。変換後、データは UPC-A 形式に従い、UPC-A によって保護されます。

プログラミングの選択の影響 (例: プリアンブル、チェックサム)。



UPC-E から UPC-A への変換

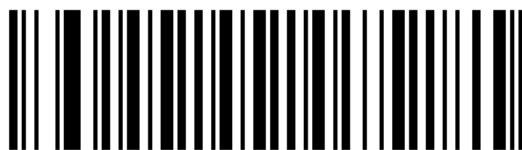


* UPC-E を UPC-A に変換しないでください

UPC-E 2 桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

UPC-E 5 桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

UPC-E は追加コードを読み取る必要があります



有効にする



* 無効にする

UPC-E1 スイッチ



* UPC-E1 を無効にする



UPC-E1 を有効にする

EAN-8

EAN-8 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、EAN-8 を有効または無効にします。



* EAN-8 を有効にする



EAN-8 を無効にする

EAN-8 ゼロ拡張

このパラメータを有効にすると、EAN-8 はデコード結果の前に 5 つのプレフィックス 0 を追加し、EAN-13 形式と互換性を持たせます。このパラメータが無効の場合、生の EAN-8 データが送信されます。



EAN-8 ゼロ拡張を有効にする



* EAN-8 ゼロ拡張を無効にする

EAN-8 2 桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

EAN-8 5 桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

EAN-8 は追加コードを読み取る必要があります



有効にする



* 無効にする

EAN-8 チェックデジットの送信



無効にする



* 有効にする

EAN-13

EAN-13 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、EAN-13 を有効または無効にします。



* EAN-13 を有効にする



EAN-13 を無効にする

EAN-13 2桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

EAN-13 5桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

EAN-13 は追加コードを読み取る必要があります



有効にする



* 無効にする

EAN-13 チェックキャラクタを送信



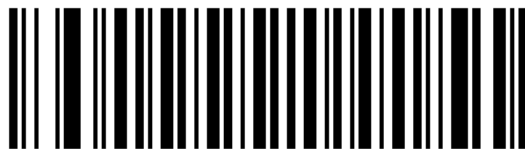
EAN-13 のチェック文字の送信を無効にする



EAN-13 を有効にしてチェック文字を送信する

Bookland EAN (ISBN) を有効/無効にする

Bookland EAN (ISBN) を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



ブックランド EAN を有効にする



* Bookland EAN を無効にする

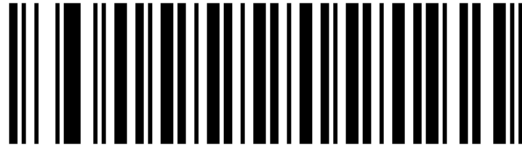
Code 128

注釈

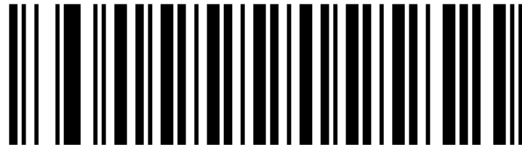
Code 128 の有効化/無効化制御は AIM128 にも適用されます。AIM128 の出力タイプ識別は、通常の Code 128 とは異なります。

Code 128 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、Code 128 を有効または無効にします。



* Code 128 を有効にする



Code 128 を無効にする

Code 128 チェックキャラクタを送信



有効にする



* 無効にする

Code 128 の長さ設定

特定の長さの Code 128 コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Code 128 任意の長さ」の設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

0-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

i 例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



Code 128 任意の長さ



Code 128 指定された長さ

GS1-128 (以前の UCC/EAN-128)



GS1-128 (以前の UCC/EAN-128)

任意の長さ



* GS1-128 を有効にする

GS1-128 を無効にする

UCC/EAN-128 チェックキャラクタを送信する



有効にする



* 無効にする

UCC/EAN-128 の長さの設定

特定の長さの UCC/EAN-128 コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「UCC/EAN-128 任意長」設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができます。数値設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

0-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



UCC/EAN-128 任意の長さ



UCC/EAN-128 で指定された長さ

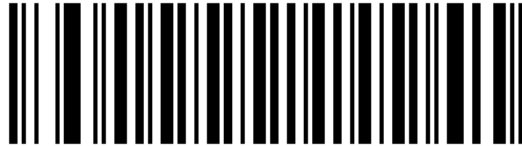
ISBT 128

任意の長さ

以下の適切なバーコードをスキャンして、ISBT 128 を有効または無効にします。



* ISBT 128 を有効にする



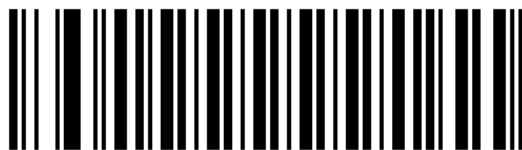
任意の長さ

Code 39

ISBT 128 を無効にする

Code 39 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、Code 39 を有効または無効にします。



* Code 39 を有効にする



Code 39 を無効にする

Code 39 長さの設定

特定の長さの Code 39 コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Code 39 任意の長さ」の設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

0-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

i 例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



Code 39 任意の長さ



Code 39 指定された長さ

Code 39 チェックディジットの検証

この機能を有効にすると、読み取りエンジンはすべての Code 39 コードの整合性をチェックし、データが指定されたチェックディジットアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。1 つのモジュロ 43 チェックディジットを含む Code 39 バーコードのみをデコードできます。



Code 39 チェックディジットを確認する



* Code 39 チェックディジットを検証しません

Code 39 チェックディジットの送信このバーコードをスキャンしてデータチェックディジットを送信します。



Code 39 チェックディジットを送信する

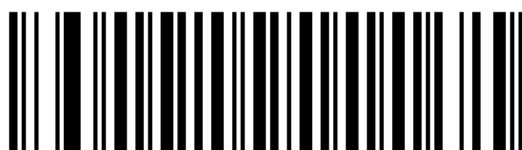


* Code 39 チェックディジットを送信しないでください

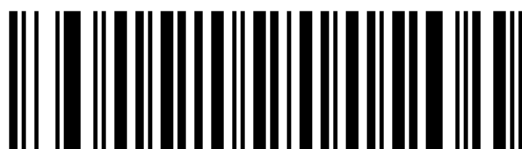
Code 39 Full ASCII の有効化/無効化

Code 39 Full ASCII は Code 39 から進化しており、二重文字から Full ASCII 文字にエンコードできます。以下の対応するバーコードをスキャンして、Code 39 Full ASCII を有効または無効にします。

文字検索テーブルの Code 39 文字の ASCII 値へのマッピングを参照してください。



Code 39 Full ASCII を有効にする



* Code 39 Full ASCII を無効にする

Code 39 送信開始文字と終了文字



* 無効にする



有効にする

Code 39 をコード 32 (イタリアの医療法) に変換する

コード 32 は、イタリアの製薬業界で使用されている Code 39 のバリエーションです。以下の適切なバーコードをスキャンして、Code 39 から Code 32 への変換を有効または無効にします。



* 無効にする



有効にする

コード 32 プレフィックス

このパラメータを有効にすると、すべての Code 32 にプレフィックス文字「A」が追加されます。このパラメータを有効にする前に、まず Code 39 を Code 32 (イタリアの医薬品コード) に変換する必要があります。



* 無効にする



有効にする

Code 32 チェックコードの検証



* 無効にする



有効にする

Code 32 チェックディジットを送信する



* 送信チェックデジット 0x00



Code 32 チェックディジットの送信を有効にする

Code 93

送信開始キャラクタ、終了キャラクタ、チェックディジット
0x01

コード 93 を有効/無効にする

Code 93 を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



コード 93 を有効にする



* コード 93 を無効にする

Code 93 の長さを設定する

特定の長さの Code 93 コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Code 93 Any Length」の設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト
0-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



Code 93 任意の長さ



コード 93 は長さを指定します

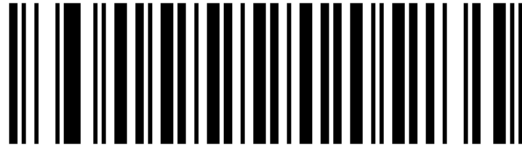
Code 11

コード 11 を有効/無効にする

コード 11 を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



コード 11 を有効にする



* コード 11 を無効にする

コード 11 の長さ設定

特定の長さの Code 11 コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Code 11 Any Length」の設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



コード 11 任意の長さ



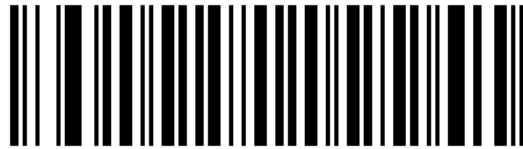
コード 11 は長さを指定します

チェックコードの検証

この機能により、読み取りエンジンはすべての Code 11 エンコーディングの整合性をチェックして、データが指定されたチェックデジットアルゴリズムに準拠していることを確認できます。これにより、デコードされた Code 11 バーコードのチェックデジットメカニズムが

選択されます。オプションには、1 パリティ桁のチェック、2 パリティ桁のチェック、または機能の無効化が含まれます。

この機能を有効にするには、チェックデジットの数に対応する以下の Code 11 バーコードをスキャンします。



* 有効にする



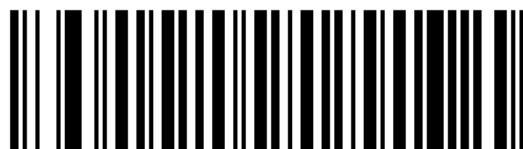
チェックデジット



2つのチェックデジット

コード 11 チェックディジットを送信する

以下のバーコードをスキャンし、Code 11 確認コードを送信するかどうかを選択します。



コード 11 チェックディジットを送信する



* Code 11 チェックディジットを送信しないでください

注釈

このパラメータ機能を実装するには、Code 11 チェックコード検証を有効にする必要があります。

インターリーブド 2/5/ITF/クロス 25 ヤード

Interleaved 2 of 5 を有効/無効にする

Interleaved 2 of 5 を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



* Interleaved 2 of 5 を有効にする



Interleaved 2 of 5 を無効にする

Interleaved 2 of 5 の長さ設定

特定の長さの Interleaved 2 of 5 コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Interleaved 2 of 5 任意長」設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



任意の長さのインターリーブ 2 of 5



指定された長さの Interleaved 2 of 5

I 2/5 チェックコードの検証

このパラメータを有効にすると、I 2 of 5 シンボルの整合性がチェックされ、USS (Uniform Symbol Specific) や OPCC (Optical Product Code Council) などの指定されたアルゴリズムに準拠していることが確認されます。



* 無効にする



有効にする

I 2/5 チェックデジットを送信

このバーコードをスキャンすると、データのチェックサムが送信されます。



I 2/5 チェックデジットを送信



* I 2/5 チェックデジットは送信しません

ディスクリット 2 of 5/インダストリアル 2 of 5/IND25/インダストリアル 25 ヤード

Discrete 2 of 5 を有効/無効にする

Discrete 2 of 5 を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



Discrete 2 of 5 を有効にする



* Discrete 2 of 5 を無効にする

ディスクリット 2 of 5 の長さ設定

特定の長さの Discrete 2 of 5 コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Discrete 2 of 5 任意長」設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



任意の長さの離散 2/5



指定された長さのディスクリート 2/5

ディスクリート 2/5 の検証



有効にする



* 無効にする

Discrete 2 of 5 チェックキャラクタを送信



Discrete 2 of 5 を有効にしてチェックキャラクタを送信する



Discrete 2 of 5 を無効にするチェック文字を送信する

マトリックス 25(マトリックス 25)

マトリックス 25 を有効/無効にする



マトリックス 25 を有効にする



*マトリックス 25 を無効にする

マトリックス 25 チェックデジットの検証



マトリックス 25 チェックサム確認を有効にする



*マトリックス 25 チェックサム確認を無効にする

マトリックス 25 チェックキャラクタの送信



マトリックス 25 送信チェック文字を有効にする



*マトリックス 25 送信チェック文字を無効にする

マトリックス 25 の長さ設定

特定の長さのマトリックス 25 コードの読み取りを可能にします。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Matrix 25 Any Length」の設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



マトリックス 25 任意の長さ



マトリックス 25 は長さを指定します

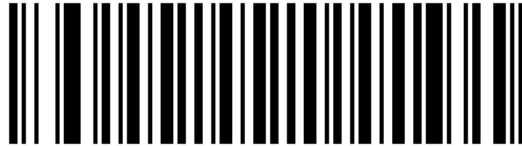
スタンダード 25/IATA25(スタンダード 25)

標準 25 を有効/無効にする

以下の対応するバーコードをスキャンして、Standard 25 を有効または無効にします。

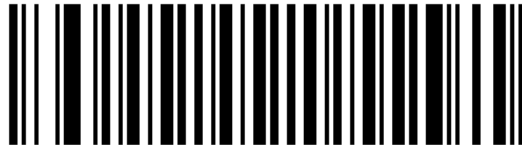


* 無効にする

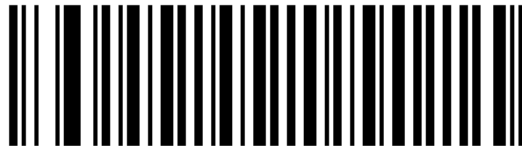


有効にする

標準の 25 チェックデジット検証

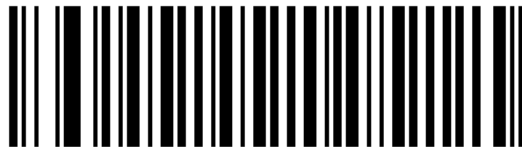


* 標準 25 チェックサム確認を無効にする



標準 25 チェックサム確認を有効にする

送信チェックキャラクタ



* 標準 25 送信チェックキャラクタを無効にする



標準 25 の送信チェックキャラクタを有効にする

標準 25 長さ設定

特定の長さの標準 25 コードの読み取りを可能にします。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Standard 25 Any Length」設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲 01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



標準 25 任意の長さ



標準 25 指定長さ

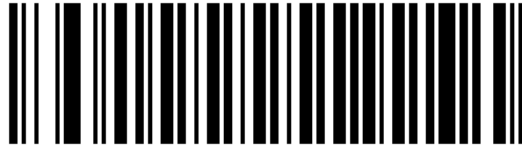
Codabar

Codabar を有効/無効にする

Codabar を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



Codabar を有効にする



* Codabar を無効にする

コードバーの長さの設定

特定の長さの Codabar コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Codabar Any Length」設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができ、数値設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

2-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。

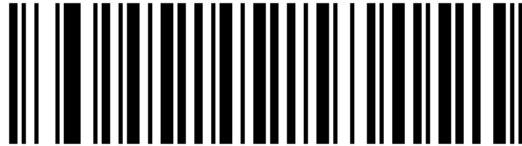


任意の長さのコードバー

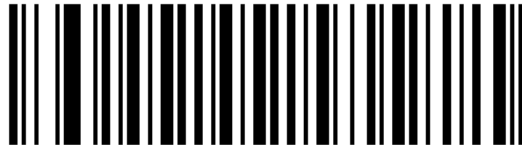


Codabar は長さを指定します

Codabar の検証



有効にする



* 無効にする

Codabar はチェック文字を送信します

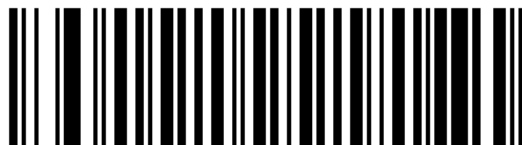


有効にする

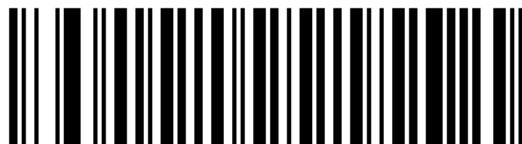


* 無効にする

通知編集



NOTIS 編集を有効にする



* NOTIS 編集を無効にする

開始文字と終了文字の形式

開始文字と終了文字には、「A」、「B」、「C」、「D」の4つの文字のいずれかを使用できます。
終了文字には、「T」、「N」、「*」、「E」の4つの文字のいずれかを使用することもできます。



*ABCD/ABCD



ABCD/TN*E

開始文字と終了文字の大文字化の設定



* 大文字



小文字

MSI/MSI PLESSEY

MSI を有効/無効にする

MSI を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



MSI を有効にする



* MSI を無効にする

MSI の長さの設定

特定の長さの MSI コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「MSI Any Length」設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

2-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



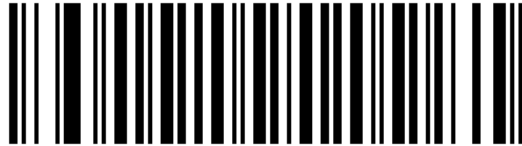
MSI の任意の長さ



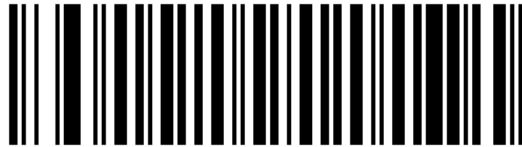
MSI 指定の長さ

MSI チェックデジット

バーコードの末尾にあるこれらのチェックコードは、データの整合性を検証します。少なくとも 1 つのチェックサムが常に要求されます。チェックサムはデータとともに自動的に送信されません。2 つのチェックディジットを選択する場合は、MSI チェックコードアルゴリズムも設定する必要があります。



* MSI チェックディジット



2つの MSI チェックディジット

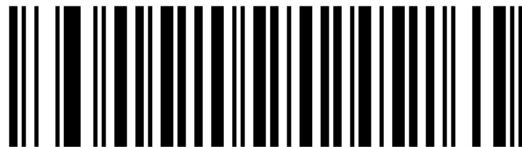
MSI チェックコードを送信する

このバーコードをスキャンして、データとともにチェックサムを送信するように設定します。



MSI チェックコードを送信する

このバーコードをスキャンして、チェックサムなしのデータ送信を設定します。



* MSI チェックコードを送信しません

MSI チェックコードアルゴリズム

2つの MSI チェックディジットを選択する場合、次のアルゴリズムのいずれかを選択する必要があります。



MOD 10 / MOD 11



* MOD 10 / MOD 10

GS1 DataBar/RSS

GS1 データバー/RSS の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、GS1 DataBar/RSS を有効または無効にします。



GS1 データバー/RSS を有効にする



* GS1 データバー/RSS を無効にする

RSS AI キャラクター



* 有効にする



無効にする

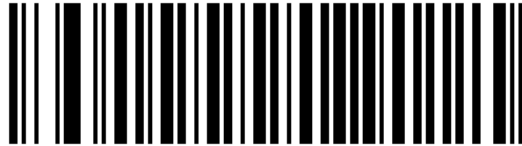
PDF417

PDF417 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、PDF417 を有効または無効にします。

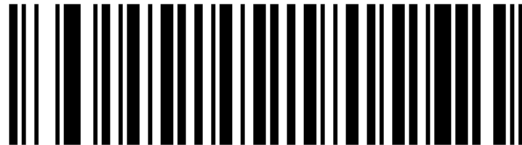


PDF417 を無効にする



* PDF417 を有効にする

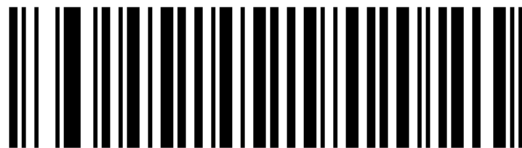
PDF417 正相/逆相読み取り



* 読み取り専用の正相



読み取り専用反転



正相・逆相どちらも読み取ることができます。

QR Code

QR Code の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、QR Code を有効または無効にします。



QR Code を無効にする



* QR Code を有効にする

ECI 制御



* ECI は出力しません



ECI 出力

QR 正相・逆相読み取り



* 読み取り専用の正相



読み取り専用反転



正相・逆相どちらも読み取ることができます。

QR Code の UTF-8 BOM エンコード形式を削除します

有効にすると、QR Code データを出力するときに、UTF-8 BOM エンコード形式が削除されます。



* 無効にする



有効にする

Data Matrix (DM)

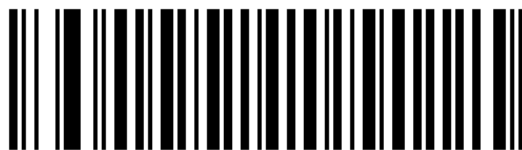
正像、鏡像どちらも読み込むことができます。

Data Matrix の有効化/無効化 (DM)

以下の対応するバーコードをスキャンして、Data Matrix (DM) を有効または無効にします。



Data Matrix を無効にする



* Data Matrix を有効にする

正/負の読み取り値



* 読み取り専用の正相



読み取り専用反転



正相・逆相どちらも読み取ることができます。

ECI 制御



* ECI は出力しません



ECI 出力

Maxi Code

マキシコードの有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、Maxi コードを有効または無効にします。



* Maxi コードを無効にする



マキシコードを有効にする

Aztec Code

アステカコードの有効化/無効化

Aztec コードを有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



* アステカコードを無効にする



アステカコードを有効にする

Han Xin Code

Han Xin コードを有効/無効にする

以下の対応するバーコードをスキャンして、Han Xin コードを有効または無効にします。



* Han Xin コードを無効にする



Han Xin コードを有効にする

正/負の読み取り値



* 読み取り専用の正相



読み取り専用反転



正相・逆相どちらも読み取ることができます。

ISSN

無効な場合は、EAN-13 に変換されます。



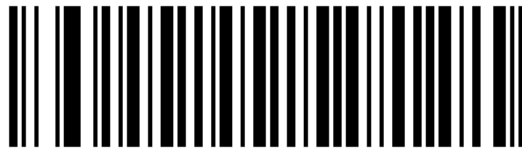
* 無効にする



有効にする

NEC-25(COOP25)

NEC-25(COOP25) スイッチ



有効にする



* 無効にする

NEC-25(COOP25) 検証



有効にする



* 無効にする

NEC-25(COOP25) チェックキャラクタを送信



有効にする



* 無効にする

NEC-25 (COOP 25) 長さ設定

特定の長さの NEC-25 コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「NEC-25 任意の長さ」の設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができます。数値の設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



NEC-25 任意の長さ



NEC-25 指定された長さ

COMPOSITE

複合を有効/無効にする



* 無効にする



有効にする

12.6 エンジンセッティングコード

デジタル設定コード

正確な数値が必要なパラメータは、適切な数値設定コードをスキャンします。



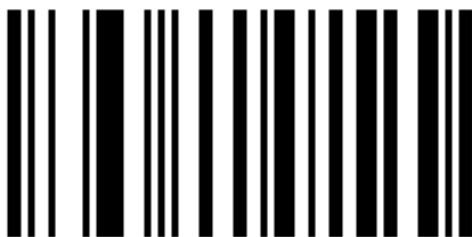
0



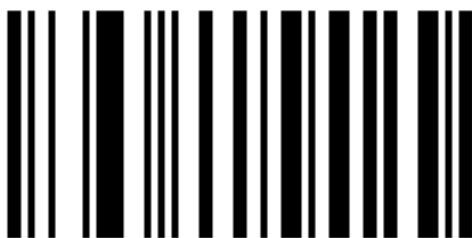
1



2



3



4



5



6



7



8



9

バーコードをキャンセル

選択を変更するか、間違った入力をキャンセルするには、下のバーコードをスキャンしてください。



セットアップコード：キャンセル

12.7 エンジンキャラクターテーブル

文字検索テーブル

デコードされたデータにプレフィックスとサフィックスを追加する場合は、次の手順に従って文字値を選択します。

1. 出力データ転送形式 (パラメータ 0xE2) を希望のオプションに設定します。

2. 表に従って設定する ASCII コード値を問い合わせ、プレフィックス (0x69)、サフィックス 1(0x68)、またはサフィックス 2(0x6A) に 16 進数で入力します。

文字比較表（制御文字）

スキャン値	16 進数値	キャラクター	キーボードのファンクションキー操作	キーボード Ctrl キーの組み合わせ操作
1000	00h	NUL	Null	CTRL 2
1001	01h	SOH	Keypad Enter	CTRL A
1002	02h	STX	Caps lock	CTRL B
1003	03h	ETX	Right Arrow	CTRL C
1004	04h	EOT	Up Arrow	CTRL D
1005	05h	ENQ	Null	CTRL E
1006	06h	ACK	Null	CTRL F
1007	07h	BEL	Enter	CTRL G
1008	08h	BS	Left Arrow	CTRL H
1009	09h	HT	Horizontal Tab	CTRL I
1010	0Ah	LF	Down Arrow	CTRL J
1011	0Bh	VT	Vertical Tab	CTRL K
1012	0Ch	FF	Delete	CTRL L
1013	0Dh	CR	Enter	CTRL M
1014	0Eh	SO	Insert	CTRL N
1015	0Fh	SI	Esc	CTRL O
1016	10h	DLE	F11	CTRL P
1017	11h	DC1	Home	CTRL Q
1018	12h	DC2	Print Screen	CTRL R
1019	13h	DC3	Backspace	CTRL S
1020	14h	DC4	tab+shift	CTRL T
1021	15h	NAK	F12	CTRL U
1022	16h	SYN	F1	CTRL V
1023	17h	ETB	F2	CTRL W

スキャン値	16 進数値	キャラクター	キーボードのファンクションキー操作	キーボード Ctrl キーの組み合わせ操作
1024	18h	CAN	F3	CTRL X
1025	19h	EM	F4	CTRL Y
1026	1Ah	SUB	F5	CTRL Z
1027	1Bh	ESC	F6	CTRL [
1028	1Ch	FS	F7	CTRL \
1029	1Dh	GS	F8	CTRL]
1030	1Eh	RS	F9	CTRL 6
1031	1Fh	US	F10	CTRL -
1032	20h	(空間)	Space	Space

文字比較表（可視文字）（続きの表）

スキャン値	16進数値	キーボードのファンクションキー操作
1033	21h	!
1034	22h	'
1035	23h	#
1036	24h	\$
1037	25h	%
1038	26h	&
1039	27h	'
1040	28h	(
1041	29h	)
1042	2Ah	*
1043	2Bh	+
1044	2Ch	,
1045	2Dh	-
1046	2Eh	.
1047	2Fh	/
1048	30h	0
1049	31h	1
1050	32h	2
1051	33h	3
1052	34h	4
1053	35h	5
1054	36h	6
1055	37h	7

スキャン値	16進数値	キーボードのファンクションキー操作
1056	38h	8
1057	39h	9
1058	3Ah	:
1059	3Bh	;
1060	3Ch	<
1061	3Dh	=
1062	3Eh	>
1063	3Fh	?
1064	40h	@
1065	41h	A
1066	42h	B
1067	43h	C
1068	44h	D
1069	45h	E
1070	46h	F
1071	47h	G
1072	48h	H
1073	49h	I

次のページに続く

表 4 - 前のページからの続き

スキャン値	16進数値	キーボードのファンクションキー操作
1074	4Ah	J
1075	4Bh	K
1076	4Ch	L
1077	4Dh	M
1078	4Eh	N
1079	4Fh	O
1080	50h	P
1081	51h	Q
1082	52h	R
1083	53h	S
1084	54h	T
1085	55h	U
1086	56h	V

スキャン値	16進数値	キーボードのファンクションキー操作
1087	57h	W
1088	58h	X
1089	59h	Y
1090	5Ah	Z
1091	5Bh	[
1092	5Ch	\
1093	5Dh	]
1094	5Eh	^
1095	5Fh	- ,
1096	60h	
1097	61h	a
1098	62h	b
1099	63h	c
1100	64h	d
1101	65h	e
1102	66h	f
1103	67h	g
1104	68h	h
1105	69h	i
1106	6Ah	j
1107	6Bh	k
1108	6Ch	l
1109	6Dh	m
1110	6Eh	n
1111	6Fh	o
1112	70h	p
1113	71h	q
1114	72h	r
1115	73h	s

次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

スキャン値	16 進数値	キーボードのファンクションキー操作
1116	74h	t
1117	75h	u

スキャン値	16 進数値	キーボードのファンクションキー操作
1118	76h	v
1119	77h	w
1120	78h	x
1121	79h	y
1122	7Ah	z
1123	7Bh	{
1124	7Ch	
1125	7Dh	}
1126	7Eh	~
1127	7Fh	Undefined

1128 から 1255 までの値も設定できます。SSI には 16 進数値 80h ~ FFh が使用されます。

13 付録

13.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	1s Delay
6CH	l	7CH		8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

 注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。